１学年第４時　「アニメの村」支援プラン　コミュニケーション基礎

【エクササイズ（ＥＸ）＆準備物】

　　ウォーミングアップ「アニメの村住人紹介」 ：登場人物のイラスト

　　メインＥＸ『アニメの村』 　　　　　　 　：アニメの村解答ワークシート（各班１）

メモ用のＡ３またはＢ４の上質紙（各班１） 情報カードセット（各班１）

学級への指示書、使者〔？？？〕の衣装

【ねらい】

　バラバラに切り離された情報を、グループの中で一つのものにしていくことで、正しい解答を得ていく。この作業を通じて、情報を交換し総合的に考えるということの大切さやグループの力というものに気づいていく。

【概要】

　磯野カツオ、野比のび太、両津勘吉、さくらももこ、江戸川コナンの５人は、この何十年間アニメキャラとして頑張ってきた。仕事に疲れ切った５人は人里離れた田舎に移り住み、静かな生活を始めた。これが「アニメの村」である。困ったのはアニメファンである。そこで、指令が下される。この５人をアニメの世界へ連れ戻すため、それぞれの家の位置、職業、飼っているペットを調べてほしい、という内容だ。与えられた情報カードに書かれた情報をもとに、班全員が協力して、全体像に到達するのだ。ただし、「情報カードを他人に見せてはいけない」「情報内容をメモ用紙に丸写ししてはいけな」というルールが与えられた。果たして制限時間１５分の間に、グループの力を生かせて真実にたどり着けるのだろうか！？

【流れ】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 活動の流れ | 留意点・教具等 |
| ウォーミングアップ | 「アニメの村の住人紹介」  　サザエさん、コチ亀、探偵コナン、ちびまる子ちゃん、  　のび太くん　が写ったイラストを見せ、それぞれの主人公の　フルネームをあてる。  磯野家、両津家、江戸川家、桜家、野比家  　これらの一家が住む村があることを紹介する。 | ○教員の一人が？？？に変装して、「学級への指示書」を届ける。（？？？は何でもいい）例）アニメの神様ｅｔｃ |
| エクササイズ | 『アニメの村』  ①「学級への指示書」を教員が読み上げる。  内容　1)それぞれの班で取り組みます。  　　 　2)それぞれの家の場所と方角、仕事と飼っているものをつきとめてください。  3)解決へのカギは、情報カードの中にあります。  　　　　4)情報カードは人に見せてはいけません。他人のカードをのぞき見することもできません。  5)模造紙にメモを書き出して、問題を解決してください。ただし、情報を丸写ししてはいけません。  6)スタートから１５分でこのミッションは終了です。  　　　 7)班で協力をして課題を解決してください。 | ○アニメの村における家の位置関係がわかるように教員が、フリップで貼りつける。方角（東西南北）をしっかりと確認する。  ○指示書の内容はフリップまたは貼り紙にしてルールを徹底させる。 |
|  | 活動の流れ | 留意点・教具等 |
| エクササイズ | ①班にメモ用の大きめの紙、マーカー、情報カードが入った封筒、正解記入用紙を配布する。  ②班のリーダーがトランプの札を配るようにして、裏側にして情報カードを班のメンバーに配布する。  ③スタートの合図で始める。  ⑤終了の合図で終わり、代表の班、または全員で真実をつきとめていく（答え合わせをする）。 | ○班の中での連携がうまくいかない場合や状況が困難な場合は必ず教員が支援を行う。  ○１５分で全班が完成することをめざす。遅い班がある場合は、ぎりぎりまで、完成するための支援を行う。 |
| ふりかえり・シェアリング | ①グループで気づきを交流する。  　＊どんなきっかけで真実に気づいたのか。  　 ＊解答にたどり着いた時の気持ち、等。  ②ふりかえり用紙に記入する。 | フィードバックの視点  ・班のメンバーの仕事分担の様子や、解答にたどりついたプロセスなどを拾い上げ、一人ひとりの力が結びつき、問題を解決したことを返していく。 |

〔参考文献〕「先生ばかりが住んでるマンション」『学校グループワーク・トレーニング３』

　日本学校ＧＷＴ研究会編著　遊戯社

【ポイント】

　班で協力する授業なので、班での仕事分担等がカギとなってくる。自発的に、班で仕事分担ができることが望ましい。指示書を班のメンバーに見えないようにというルールの徹底さえすれば、班の中での情報交換が自然と工夫されてくる。メンバーの話をしっかり聴き、自分の情報を正確に伝えるというプロセスが大切であることを考えさせたい。正解は準備はしておくが、全員で答え合わせができるほうが望ましい。

|  |
| --- |
| 子どもの気づき |
| ・一人ずつ情報を言っていき、それをつなげるのが楽しかったです。  ・話す人も聞く人も、「伝えよう！聞こう！」と思っていると、スムーズに話が進められるということがわかった。  ・改めて、自分がもっている情報を相手にいち早く伝えないと困ることがわかった。生活でも伝え合ったり聞いたりするのは大事だと思った  ・こういう協力性は、これからの生活で必ず必要なので、それを知ることが出来てよかったです。 |

|  |
| --- |
| 教員からのコメント |
| ・アニメの主人公やその関係についてのやりとりは雰囲気作りに良かったです。「学級への指示書」を届けるのに衣装を着て届けてもらったことでたいへん盛り上がり、その後の活動につながりました。情報交換の場面では、メモを書く人を決めたり進んでその役を買って出たりする姿が見られ、お互いが自由に情報を伝え合うことができていていいなと思いました。子どもたちの活動はグループによって少し差が出ましたが、参加できないという生徒がおらず、学級全体が良い時間を共有できていました。 |

＊道徳の内容項目との関連：　1-(3) 誠実・責任　　4-(4) 役割と責任の自覚

（担当：山本　良子）